
令和6年度

第4次長岡市食育推進計画実施状況報告書

長 岡 市

令和7年7月

第4次長岡市食育推進計画 施策の体系

基本理念	食で育む健やかな身体 豊かなところ 未来へつなぐ地域の活力		
基本方針	健全な食生活を実践できる食育の推進	取組の柱	・多世代にわたり心と身体を健康にする食育の推進 ・生活習慣病を予防する健康づくりの推進
	ながおかの食をとりまく環境への理解を深める食育の推進		・食と環境に関する理解の促進 ・地域の特性、農産物等を活かした食育の推進と次世代への継承

5つの基本施策

家庭での推進	学校、保育園等での推進	地域での推進	環境に配慮した食の循環の推進	「ながおかの食」の継承
--------	-------------	--------	----------------	-------------

<家庭での推進>

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(1)こどもの基本的な生活習慣の形成	○早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムの向上と実践の普及啓発 ○妊産婦や乳幼児のいる家庭に向けた食生活支援の実施 ○生活リズムが乱れやすい環境にある中高生以上に向けた、基本的な生活習慣づくりの普及啓発	○母子手帳交付時の生活指導(子ども・子育て課) ○赤ちゃん相談、1.6歳・3歳児健診時の栄養相談と情報提供(子ども・子育て課) ○子育て支援地区活動(母子保健推進員協議会) ○児童館食育プログラム(健康増進課) ○食育リーフレットの作成・配布(健康増進課) ○食育総合講座「みんなの食育塾(高校生コース)」(健康増進課) ○食育だより・給食だより(保育課・各保育園、学務課・各小中学校) ○食育授業・食生活調査(学務課・各小中学校)

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(2)望ましい食習慣や知識の習得	○気軽に参加しやすい料理教室や体験活動等による、食に関する正しい知識や選択力、調理技術を習得する機会の提供 ○ホームページや地域活動を活用した、保護者に対する食育の重要性や適切な栄養管理に関する知識の啓発	○子育て支援あぐりんこ内での食育調理実習（JAえちご中越さんとう地域） ○子育て世代の親子を対象にした郷土食の伝承会（JAえちご中越さんとう地域） ○小学校（保育園）での食育出前教室（JAえちご中越さんとう地域） ○市政だより給食レシピ紹介（学務課・保育課） ○給食試食会（保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○児童館食育プログラム（健康増進課）【再掲】 ○こども長岡びったり3・1・2弁当スライド作品展（健康増進課・学校教育課） ○食育総合講座「みんなの食育塾（親子コース）」（健康増進課） ○食育充実事業「食を切り口とした子育て世代応援事業」（県）
(3)こどもの育成支援における共食等の食育推進	○共食の場を利用した食に対する知識や感謝の心の育成 ○料理教室やイベント等による食に関する家庭での仕事や役割へ関心を持つことができる機会の提供 ○家族が食卓を囲んで共に食事をとる機会や、食に関する学習や体験活動をすることでのコミュニケーションの重要性の再認識	○こども食堂への運営支援（子ども・子育て課） ○児童館食育プログラム（健康増進課）【再掲】 ○食育だより・給食だより（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○こども長岡びったり3・1・2弁当スライド作品展（健康増進課・学校教育課）【再掲】 ○食育授業・食生活調査（学務課・各小中学校）【再掲】

＜学校、保育園等での推進＞

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(1) 学校、保育園等での組織的、計画的な食育の推進	○学校における食育の組織的・計画的な推進 ○保育園等における食に関わる保育環境の整備 ○学校・保育園等の食育指導に関わる計画の作成・活用・共有 ○教育従事者や保護者を対象とした食に関する講演会の開催	○食育指導計画（保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○食育講演会（学務課・各小中学校） ○保育園・幼稚園・こども園食育事業【保育従事者研修会】（健康増進課） ○保育園・幼稚園・こども園食育事業【食育講座】（健康増進課・保育課）
(2) 給食場面等を活用した食育の推進	○給食だよりの発行や給食試食会の開催等による家庭や地域と連携した取組 ○地域の食材や郷土料理を使用した給食の実施 ○食事のマナーや衛生管理の知識の習得 ○こどもたちと生産者や食の関係者との交流による食への関心拡大と感謝の心の育成	○給食試食会（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○給食だより・食育だより（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○市政だより給食レシピ紹介（学務課・保育課）【再掲】 ○給食での行事食の実施（保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○栄養教諭等による健康教育・指導（保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○保育園・幼稚園・こども園食育事業【食育講座】（健康増進課・保育課）【再掲】 ○こども長岡びったり3・1・2弁当スライド作品展（健康増進課・学校教育課）【再掲】 ○小、中学生を対象として環境をテーマにデコ活標語の募集（環境政策課） ○小学生を対象とした地球温暖化・気候変動対策講座で食品ロス削減につながる環境教育（環境政策課） ○小学校（保育園）での食育出前教室（JAえちご中越さんとう地域）【再掲】 ○特定給食施設等指導事業（県）
(3) 食育を通じた健康状態の改善等の推進	○肥満や過度の痩身が心身の健康に及ぼす影響についての知識の普及と個別の相談等の実施	○栄養教諭等による健康教育・指導（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○保育園・幼稚園・こども園食育事業【食育講座】（健康増進課・保育課）【再掲】

＜地域での推進＞

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(1) 市民の健康づくりのための食育活動	○食生活改善推進委員等と連携し地域の健康状態の改善とその支援 ○健康診断結果に応じた栄養や運動指導の充実 ○健康教室等による生活習慣病予防及び重症化予防の観点からの食育の普及啓発 ○生活習慣病に関する知識の普及や実践力の養成 ○歯科的特徴に応じた支援や口腔内の健康保持、よく噛んで食べる習慣の啓発	○食育推進料理教室（長岡市食生活改善推進委員協議会） ○働く世代への啓発事業（長岡市食生活改善推進委員協議会） ○食育総合講座「みんなの食育塾（生活習慣改善コース）」（健康増進課） ○ながおか減塩うまみランチ商品化（健康増進課・学務課） ○健康増進活動（JAえちご中越 ながおか地域） ○すこやかともしびまつりブース参加（栄養士会長岡支部） ○糖尿病を知るつどいででの啓発活動（栄養士会長岡支部） ○CKD・糖尿病性腎症栄養指導事業（栄養士会長岡支部） ○自然に健康な食事ができる環境づくり事業（県）
(2) 高齢者・男性に対する食育の啓発	○高齢者へのふれあい食事サービスを活用したバランスの良い食事の提供 ○高齢者の低栄養や生活習慣病予防のための指導 ○高齢者や男性を対象とした料理教室の開催等、食への関心を高め健全な食生活の実践ができる機会の提供	○コミュニティセンターにおける高齢者・男性に対する食育の取組（各コミュニティセンター・市民協働課） ○ふれあい型食事サービス事業（社会福祉協議会・長岡市食事サービス連絡協議会） ○長岡地域 地域高齢者等の「食」をサポートする体制整事業（県） ○自然に健康な食事ができる環境づくり事業（県）【再掲】
(3) 関係団体等との連携・協働体制の確立	○関係者同士のネットワークを構築し総合的・効果的な食育の推進ができるような連携の強化 ○地域における共食の場づくりとそれに伴う理解と適切な認識を深めるための情報提供及び支援	○食育推進会議・食育推進連絡会議の開催（健康増進課） ○第4次長岡市食育推進計画進捗状況管理（健康増進課）
(4) 食に関わるボランティア活動等民間の取組への支援	○活発な食育推進活動を図るため食に関するボランティアの増加や活動の支援及び環境づくり	○食生活改善推進委員養成教室の開催（健康増進課） ○食生活改善推進委員活動支援（健康増進課） ○こども食堂への農産物の無償提供（JAえちご中越 さんとう地域） ○ふれあい型食事サービス事業（社会福祉協議会・長岡市食事サービス連絡協議会）【再掲】

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(5)食育に関する情報発信・普及啓発	○長岡市食育推進計画の作成・周知による市民への理解の促進 ○市の広報誌やマスメディア等を利用した情報発信 ○食に関する関係団体と連携した「食育月間」「食育の日」の普及 ○食に関するイベントや講座、講演会の開催等への参加による食に対する意識の向上	○食育月間・食育の日PRイベント(健康増進課) ○食育講演会(健康増進課) ○食事サービス利用者への情報提供(食育だよりの発行)(健康増進課) ○市政だより給食レシピ紹介(学務課・保育課)【再掲】 ○食育の日料理教室(JAえちご中越)
(6)若い世代に関わる食育の推進	○適正体重に関する正しい知識の向上 ○健康づくりに取り組む企業への支援 ○企業と連携し食事バランスなどに配慮した食事の普及と健全な食生活を実践しやすい食環境づくり	○働く世代への啓発事業(長岡市食生活改善推進委員協議会)【再掲】 ○食育総合講座「みんなの食育塾(生活習慣改善コース)」(健康増進課)【再掲】 ○食育総合講座「みんなの食育塾(高校生コース)」(健康増進課)【再掲】 ○ながおか減塩うまみランチ商品化(健康増進課・学務課)【再掲】 ○健康増進活動(JAえちご中越 ながおか地域)【再掲】 ○自然に健康な食事ができる環境づくり事業(県)【再掲】

＜環境に配慮した食の循環の推進＞

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(1)農林漁業体験活動の促進	○体験活動ができる環境整備と利用促進 ○食への関心と理解を深めるための体験活動の開催と情報提供	○ながおか田植え・さつまいも苗植え体験、稲刈り・さつまいも掘り体験（農水産政策課・ながおかグリーン・ツーリズム推進協議会） ○芋農園、じゃが芋・肴豆栽培収穫体験（JAえちご中越ながおか地域） ○農業、農村体験（JAえちご中越 ながおか青年部・さんとう地域） ○学校教育田（JAえちご中越 ながおか青年部・さんとう地域） ○野菜栽培指導（JAえちご中越 ながおか青年部・さんとう地域） ○こめっこすすめ隊料理教室（JAえちご中越 ながおか地域）
(2)農林漁業に関する理解の促進	○食に関するイベントや直売所を利用した生産者と消費者の交流の促進 ○リーフレット等での啓発	○長岡産食材を使用した給食の実施（農水産政策課・保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○学校給食への長岡産（地場産）米提供・地元野菜の提供（JAえちご中越 ながおか地域・さんとう地域） ○ながおか農業まつり（JAえちご中越） ○職場体験（JAえちご中越 ながおか地域）
(3)地産地消の促進	○地域の食材への理解と関心を持たせるため、保育園等や学校給食への地域の食材の使用拡大や、郷土への関心を高めるための生産者との交流促進 ○直売所等での地域の食材の情報提供による購入しやすい環境づくり ○子育ての駅等での普及活動 ○地産地消推進店の利用促進事業の実施	○食育の日料理教室（JAえちご中越）【再掲】 ○給食試食会（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○長岡産食材を使用した給食の実施（農水産政策課・保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○学校給食への長岡産（地場産）米提供・地元野菜の提供（JAえちご中越 ながおか地域）【再掲】
(4)環境と調和のとれた持続可能な食に関する普及啓発	○環境と調和した生産方法で作られた農林水産食品に対する理解と関心の増進のための普及啓発 ○食品ロス削減に向けた教育及び関係団体と連携した普及啓発や環境教育を実施	○環境に配慮した農法で作られた米のブランド化（農水産政策課） ○小、中学生を対象として環境をテーマにデコ活標語の募集（環境政策課）【再掲】 ○小学生を対象とした地球温暖化対策講座で食品ロス削減につながる環境教育（環境政策課）【再掲】

＜「ながおかの食」の継承＞

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(1) ボランティア活動等における取組	○食文化を次世代に継承する担い手の育成 ○料理教室やレシピ集の作成・配布による地域の食文化の継承 ○地域の食材に関する知識や調理方法の普及 ○地域において気軽にコミュニケーションを図れる環境づくり	○食育リーフレットの作成・配布（健康増進課）【再掲】 ○食生活改善推進委員地区活動（長岡市食生活改善推進委員協議会） ○食生活改善推進委員養成教室の開催（健康増進課）【再掲】
(2) 学校、保育園等給食での郷土料理等の積極的な導入	○地域の食文化への理解と関心を持たせるため、保育園等や学校給食への地域の食材や郷土料理の使用拡大 ○学校、保育園等の活動の中における地域の食についての教育拡大	○給食での行事食の実施（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○長岡産食材を使用した給食の実施（農水産政策課・保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○学校給食への長岡産（地場産）米提供・地元野菜の提供（JAえちご中越 ながおか地域）【再掲】 ○子育て世代の親子を対象にした郷土食の伝承会（JAえちご中越 さんとう地域）【再掲】
(3) 地域の食文化の次世代への継承	○和食文化や食事のマナー、作法等まで幅広く学び、継承していく機会の提供 ○行事食の再認識と情報提供の充実	○子育て支援あぐりんこ内での食育調理実習（JAえちご中越 さんとう地域）【再掲】 ○子育て世代の親子を対象にした郷土食の伝承会（JAえちご中越 さんとう地域）【再掲】 ○食育総合講座「みんなの食育塾（伝承コース）」（健康増進課） ○給食での行事食の実施（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)
1	母子健康手帳交付時の生活指導	子ども・子育て課	妊娠届出数 1,461件	518	妊娠届出数 1,360件	573	妊娠届出数 1,302件	658
2	赤ちゃん相談、1.6歳、3歳児健診時 栄養・食生活相談・情報提供	子ども・子育て課	赤ちゃん相談 1,502人 1.6才健診 1,584人 3才健診 1,713人	477	赤ちゃん相談 1,357人 1.6才健診 1,571人 3才健診 1,635人	478	赤ちゃん相談 1,270人 1.6才健診 1,432人 3才健診 1,583人	494
3	子育て支援地区活動	子ども・子育て課	食に関する内容 開催数 10回	545	食に関する内容 開催数 7回	527	食に関する内容 開催数 13回	780
4	児童館食育プログラム	健康増進課	実施地区数 11か所 参加者数 353人	98	実施地区数 17か所 参加者数 492人	84	実施地区数 16か所 参加者数 653人	78
5	食育リーフレットの作成・配布	健康増進課	リーフレットの配布のみ実施	—	リーフレットの配布のみ実施	—	リーフレットの配布のみ実施	—
6	食育総合講座「みんなの食育塾(親子コース)」	健康増進課	2回開催 親子22組 49人	139	3回開催 ①親子6組 16人 ②親子11組 23人 ③18人	56	5回開催 ①親子9組 ②親子8組 ③親子9組 ④親子10組 ⑤親子9組	250
7	食育総合講座「みんなの食育塾(高校生コース)」	健康増進課	1校開催 20人	18	高校 1校 18人 新潟少年学院 52人	12	新潟少年学院 46人	
8	食育総合講座「みんなの食育塾(生活習慣改善コース等)」	健康増進課	2回コース×2講座 延べ54人	—	2回コース×2講座 動画作成1本 延参加者数 45人	28	2講座 動画作成1本 延参加者数 72人	
9	食育総合講座「みんなの食育塾(伝承コース)」	健康増進課	2回1コース 22人	—	郷土料理教室(2回開催) 延べ35人 醤油づくり体験講座(大人向け)12人	67	郷土料理教室(2回開催) 延べ37人 醤油や発酵について学ぶ講座14人	
10	給食だより・食育だより	保育課 各保育園	献立だより発行 12回/年(保育課) 食育だより発行 各保育園 年3～4回	—	献立だより発行 12回/年(保育課) 食育だより発行 各保育園 年3～4回	—	献立だより発行 12回/年(保育課) 食育だより発行 各保育園 年3～4回	—
		学務課 各小中学校	全市内学校で毎月1回配布 特別号(夏・冬休み)年2回 減塩の取組紹介 学校給食週間に合わせ配布	—	全市内学校で毎月1回配布 特別号(夏・冬休み)年2回 減塩の取組を毎月配布・掲示 学校給食週間に合わせ年1回配布	—	全市内学校で毎月1回配布 特別号(夏・冬休み)年2回 減塩の取組を毎月配布・掲示 学校給食週間に合わせ年1回配布	—

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)
11	食育授業・食生活調査	学務課 各小中学校					食育授業: 50校で実施 食生活調査: 全小中学校で実施 (小5、中2)	—
12	こども長岡ぴったり3・1・2弁当スライド作品展	健康増進課					応募総数 217件 小学校 8校8件 中学校 5校209件 【ぴったり賞】80件 【おいしい賞】137件	—
13	市政だより 給食レシピ紹介	学務課 保育課					令和6年9月号より開始 月1回	—
14	子育て支援めぐりんこ内での食育調理実習	JAえちご中越 さんとう地域	年7回開催 毎回10～12組	—	年11回開催 参加数: 延べ親子110組	163	年10回開催 参加数: 延べ親子94組	186
15	子育て世代の親子を対象にした郷土食の伝承会	JAえちご中越 さんとう地域					親子16組 36人	63
16	小学校(保育園)での食育出前教室	JAえちご中越 さんとう地域					小学校 2校(うち1校は3回) 保育園 5園	—
17	食育充実事業「食を切り口とした子育て世代応援事業」	県					小千谷市で実施 1園 参加者38人	—
18	子ども食堂への運営支援	子ども・子育て課	補助金交付 15団体	1,380	補助金交付 16団体 (うち新規施設: 2か所)	1,120	補助金交付 12団体 (うち新規施設: 1か所)	880
19	食育指導計画	保育課 各保育園	公立保育園・こども園 32/32園作成	—	公立保育園・こども園 30/30園作成	—	公立保育園・こども園 30/30園作成	—
		学務課 各小中学校	全体計画: 81校作成 年間計画: 78校作成	—	全体計画: 83校作成 年間計画: 75校作成	—	全体計画: 83校作成 年間計画: 75校作成	—
20	食育講演会	学務課 各小中学校	児童生徒対象: 1校 保護者対象: 1校	—	児童生徒対象: 5校 保護者対象: 3校	—	児童生徒対象: 5校 保護者対象: 3校	—
21	給食試食会	保育課 各保育園	各公立保育園で実施	—	各公立保育園で実施 14園	—	各公立保育園で実施 20園	—
		学務課 各小中学校	保護者対象: 15校 学校評議員対象: 8校	—	保護者対象: 43校 学校評議員対象: 1校	—	保護者対象: 43校 学校評議員対象: 1校	—

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			実 績	決算額 (千円)	実 績	決算額 (千円)	実 績	決算額 (千円)
22	給食での行事食の実施	保育課 各保育園	月1～2回程度実施	—	月1～2回程度実施	—	月1～2回程度実施	—
		学務課 各小中学校	全市内学校で実施	—	全市内学校で実施	—	全市内学校で実施	—
23	栄養教諭等による健康教育・指導	保育課 各保育園	実施回数:2カ所×2回 250人 支援センター:3カ所	—	保育園:3園(延べ5回) 参加者数延べ253人 支援センター:3カ所	—	保育園:2園(延べ4回) 参加者数延べ282人 支援センター、子育ての駅:4カ所	—
		学務課 各小中学校	全市内学校で実施	—	全市内学校で実施	—	全市内学校で実施	—
24	保育園・幼稚園・こども園食育事業 【園児・保護者向け講座】	健康増進課	保護者向け食育講座 3園 55人 親子食育体験講座 5園 162人 3回講座 10園 延べ2,492人	12 18 288	保護者向け食育講座 2園 65人 親子食育体験講座 5園 179人 3回講座 10園 延べ1,436人	12 30 300	保護者向け食育講座 3園 80人 親子食育体験講座 6園 241人 3回講座 10園 延べ883人	239
	保育園・幼稚園・こども園食育事業 【保育従事者研修会】	健康増進課	保育従事者研修会 2回 参加者 160人	80	保育従事者研修会 1回 参加者 158人	30	保育従事者研修会 1回 参加者 156人	30
25	特定給食施設等指導事業	県					見附市の保育園を対象に実施	—
26	食育推進料理教室	長岡市食生活改善 推進委員協議会	実施地区数 53地区 参加者数 延769人	1,071	実施地区数 51地区 参加者数 延783人	1,030	実施地区数 49地区 参加者数 延766人	981
27	働く世代への啓発事業	長岡市食生活改善 推進委員協議会	1事業所 10人 1専門学校 27人	—	1事業所 50人	19	1事業所 50人	19
28	ながおか減塩うまみランチ商品化	健康増進課 学務課			6月 主菜献立:2,100個 副菜献立:1,105個 10月 副菜献立:1,815個	72	【マルイ】6月 主菜献立:2,472個 副菜献立:544個 【たいしん】2～3月 299食	66
29	健康増進活動	JAえちご中越 ながおか地域	健康料理教室(19会場)参加者193人 健康教室(3会場)参加者51人	—	健康料理教室(22会場)参加者229人 健康教室(3会場)参加者55人	—	健康料理教室(21会場)参加者238人 健康教室(3会場)参加者37人	—
30	すこやかとしびまつりブース参加	栄養士会長岡支部	展示PR 来場者432人	—	展示PR ブース来場者539名	—	展示PR ブース来場者512名	—
31	糖尿病を知るつどい啓発活動	栄養士会長岡支部	来場者 66人	—	参加者 94人	—	参加者 158人	—
32	CKD・糖尿病性腎症栄養指導事業	栄養士会長岡支部	会場実施16回、訪問 参加人数 延248人	—	会場実施16回、訪問 参加人数 延265人	—	会場実施15回、訪問 参加人数 延224人	—

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)
33	自然に健康な食事ができる環境づくり	県					けんこうtime推進店 新規登録 1件	—
34	コミュニティセンターにおける高齢者・男性に対する食育の取組	各コミュニティセンター 市民協働課					高齢者対象 参加者数延べ223人 男性対象 参加者数延べ183人	—
35	ふれあい型食事サービス事業	社会福祉協議会 食事サービス連絡協議会	食事サービス:市内41地区で実施 (全地区) 延食数54,651食 調理ボランティア研修会: 3回 190人	—	食事サービス:市内41地区で実施 (全地区) 延食数59,631食 調理ボランティア研修会: 3回 144人	— 49	食事サービス:市内41地区で実施 (全地区) 延食数62,502食 調理ボランティア研修会: 3回 177人	— 64
36	長岡地域 地域高齢者等の「食」をサポートする体制整備事業	県					①在宅、福祉、医療のシームレスな 「栄養情報の共有」をテーマにした検討会 ②食べる機能に着目した研修会 ③病院、施設の管理栄養士を対象とした 「栄養情報の共有」を目指した研修会	101
37	食育推進会議・食育推進連絡会議	健康増進課	推進会議 1回 連絡会議 1回	75	推進会議 2回 連絡会議 3回	201	推進会議 1回 連絡会議 2回	112
38	長岡市食育推進計画進捗状況管理	健康増進課	実施状況報告書作成	—	実施状況報告書作成	—	実施状況報告書作成	—
39	食生活改善推進委員協議会養成教室	健康増進課	1会場 6回実施 修了者 29人	111	1会場 6回実施 修了者 19人	105	1会場 4回実施 修了者 23人	63
40	食生活改善推進委員活動支援	健康増進課	全体研修会 1回 161人 各地域研修会 34回	374	会員数 443人 全体研修会 2回 延べ302人 各地域研修会 22回	2,289	会員数 425人 全体研修会 2回 330人 各地域研修会 27回	463
41	子ども食堂への農産物の無償提供	JAえちご中越 さんとう地域					提供先:1食堂 毎月1回提供	—
42	食育月間・食育の日PRイベント	健康増進課	食育月間・食育の日PR活動	—	食育月間・食育の日PR活動	82	POP掲示 スーパー5社、コンビニ4社 PR展示 2か所	67
43	食育講演会	健康増進課	参加者数 119人	70	参加者数 84人	100	参加者数 221人	100
44	食事サービス利用者への情報提供 (食育だよりの発行)	健康増進課	1回1,700部発行	—	配食サービス41団体 1回1,500部発行	—	R6年度発行なし	—
45	ながおか田植え・さつまいも苗植え体験 稲刈り・さつまいも掘り体験	農水産政策課他	田植えまつり 99人 農業ふれあいまつり 148人	—	田植えまつり 9組 32人 農業ふれあいまつり 6組 17人	—	田植え・さいまいも苗植え体験 15組 47人 稲刈り・さつまいも掘り体験 49組 148人	—

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			実 績	決算額 (千円)	実 績	決算額 (千円)	実 績	決算額 (千円)
46	芋農園、じゃが芋・肴豆栽培・収穫体験	JAえちご中越 ながおか地域	各種収穫体験イベント 26人参加 栽培・収穫体験:幼稚園1園	—	各種収穫体験イベント 各2回開催 参加者数延べ66人 栽培・収穫体験:幼稚園 1園	—	各種収穫体験イベント 各2回開催 参加者数延べ55人 栽培・収穫体験:幼稚園 1園	—
47	農業・農村体験	JAえちご中越 ながおか地域	5-6年生12人参加	—	小学4,5,6年生 20人	—	小学4,5,6年生 20人	—
		JAえちご中越 さんとう地域			実施小学校 1校	—	実施保育園 1園 実施小学校 2校	—
48	学校教育田	JAえちご中越 ながおか地域	実施小学校数 11校	—	実施小学校数 13校 実施幼稚園数 1園	—	実施小学校数 14校 実施幼稚園数 1園	—
		JAえちご中越 さんとう地域	実施小学校数 管内6校	—	実施小学校数 5校	—	実施小学校数 5校	—
49	野菜栽培指導	JAえちご中越 ながおか地域	実施小学校 4校 実施園 13園	—	実施小学校 8校 実施園 22園	—	実施小学校 3校 実施園 10園	—
		JAえちご中越 さんとう地域	実施小学校 1校 実施園 2園	—	実施小学校 2校	—	実施小学校 2校	—
50	こめっこすすめ隊料理教室	JAえちご中越 ながおか地域	米粉料理教室:小学生5人 出張料理教室教室:中止	—	米粉料理教室(小学生向け) 1回開催 参加者8人 出張料理教室教室(高齢者施設) 2回開催 参加者16人	—	米粉料理教室(小学生向け) 3回開催 参加者32人	—
51	食育の日料理教室	JAえちご中越					毎月19日 11回開催 延参加者数110人	—
52	長岡産食材を使用した給食の実施	保育課 各保育園	月1～2回程度実施	—	月1～2回程度実施	—	月1～2回程度実施	—
		農水産政策課 学務課 各小中学校	全市内学校	—	全市内学校	—	全市内学校	—
53	学校給食への長岡産(地場産)米 提供・地元野菜の提供	JAえちご中越 ながおか地域	米供給数 4,759俵 対象校 80校 野菜提供 24校	—	米供給数 3,783俵 対象校 61校 野菜提供 24校	—	米供給数 3,526俵 対象校 52校 野菜提供 26校	—
		JAえちご中越 さんとう地域	米供給数 138俵 対象校 小学校2校 野菜提供 11校	—	米供給数 168俵 対象校 3校 野菜提供 14校	—	米供給数 182俵 対象校 3校 野菜提供 14校	—

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			実 績	決算額 (千円)	実 績	決算額 (千円)	実 績	決算額 (千円)
54	ながおか農業まつり	JAえちご中越 ながおか地域	来場者数 6,000人 他体験イベント実施	—	集客数 11,000人 他体験イベント実施	—	集客数 10,300人 他体験イベント実施	—
55	職場体験	JAえちご中越 ながおか地域	大学生4人、中学生15人	—	大学生4人、中学生21人	—	中学生23人、小学生13人	—
56	環境に配慮した農法で作られた米 のブランド化	農水産政策課					認証数 28経営体	—
57	小、中学生を対象として環境をテーマに デコ活標語の募集	環境政策課					市内小学校 18校252点 市内中学校 1校152点	39
58	小学生を対象とした地球温暖化・気 候変動対策講座で食品ロス削減に つながる環境教育	環境政策課					市内3校 229人	24
59	食生活改善推進委員地区活動	長岡市食生活改善 推進委員協議会	郷土料理、伝承料理の教室を開催	—	郷土料理、伝承料理の教室を開催	—	郷土料理、伝承料理の教室を開催	—

R6年度食育推進事業実施状況・評価

全事業一覧

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおか」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
1	母子健康手帳交付時の生活指導	子ども・子育て課	○					母子手帳交付時に保健師や助産師と面接をし、食生活等の保健指導を実施。	R6. 4月～R7. 3月妊娠届出数1,302件	658	専門職と個別面接することで、個々の状況に応じた生活指導を実施することができている。
2	赤ちゃん相談、1.6歳、3歳児健診時栄養・食生活相談・情報提供	子ども・子育て課	○					乳幼児の健康の保持増進を図り、育児に関する相談支援を行う。	赤ちゃん相談：1,270人 1.6歳児健診：1,432人 3歳児健診：1,583人	494	赤ちゃん相談では、離乳食の相談が多い。また健診時の相談は、肥満や偏食などの食生活に関する相談が多かった。栄養士から助言・指導を受けることで、食生活の見直しにつながっている。
3	子育て支援地区活動	母子保健推進員協議会	○					長岡市母子保健推進員協議会に委託し、地区単位で子育てに関する講座や親子の交流会等を開催。食に関することでは、離乳食講座やおやつ作り等の内容を取り入れている。	令和6年度子育て支援地区活動食に関して13回	780	離乳食や幼児食、おやつについてなど栄養士の講話を聞きながら、個別の相談や指導も受けられる場となっている。前年度より回数が増えたことから、感染症対策をしながら活動を実施する地区が増加したと思われる。
4	児童館食育プログラム	健康増進課	○					子ども自身が「食」に関心を持ち、「食」を正しく選択できるようにすることを目的に、児童館（児童クラブ）に来ている子どもたちを対象に、「食」にかかわる講話および調理実習を行う。	・実施児童館数：16か所（内訳） ・講話と実習：11か所 ・講話のみ：5か所 ・参加児童数：653人 ・実施内容 黄赤緑のバランス、マナー、朝食、野菜、災害クッキング、みそ玉作り、おにぎりづくり、だし試飲など	78	普段の生活に活かしやすいテーマで実施した施設が多かった。子どもが積極的に取り組む様子がみられた。引き続き、児童館等へPRを行っていく。
5	食育リーフレットの作成・配布	健康増進課	○				○	食育に関するリーフレットを作成し、広く市民に啓発を図るもの。食に関するイベントや講座、企業等へ配布。	朝ごはんリーフレット、働き世代向けリーフレット、郷土料理リーフレットなどを、食に関する市民向けイベント時や、保育園の食育講座、食推活動等で配布した。また、食育月間に図書館やミライエに設置した。	-	令和6年度は新規作成は無し 今後も、多くの人に目にしていただけるよう、配布方法や設置場所を工夫する。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
6	食育総合講座「みんなの食育塾（親子コース）」	健康増進課	○					親子で食に関わる様々な体験を通して、若い世代への食に関する興味や関心を高めるとともに、家庭における食を育む力の向上を図る。	・しゃかしやかおにぎりづくり6/15（ミライエ開催 親子9組） ・地場産野菜を使った料理7/27（親子8組） ・お魚さばき体験と調理11/16（寺泊開催 親子9組） ・おせち料理12/7（親子10組） ・パパと子どもの料理2/1（親子9組）	250	参加者からは「ミライエにてたまたま参加したが、学びが多くあった」「子供との料理をどこまで任せるか、学びが多くあった」「家庭で教えるより様々な調理体験ができ、親も楽しく勉強できた」等の感想があった。実際に調理したり、見て学んだこと、地域の専門家から教わったこと、親子や他の参加者と一緒に楽しみながら学んだことで、より実践に繋がる講座となった。
7	食育総合講座「みんなの食育塾（高校生コース）」	健康増進課	○		○			高校生対象に若年期から自分にあった食事量を知り、バランスよく食べる必要性について「3・1・2弁当箱法」を用いて普及する。	・10月17日 新潟少年学院 少年46人		高校生向け講座は、6年度は実施なし 少年院の講座では、若い世代の食生活のポイント、弁当コンテストの講評を行った。 自立する前の世代に食育することで、健康な食生活を送る力を身に着ける支援ができた。 次年度以降は、多くの高校に実施していただけるよう、周知を行っていく。
8	食育総合講座「みんなの食育塾（生活習慣改善コース等）」	健康増進課			○			生活習慣の改善を目的とし、適正体重の維持や食事バランスなどに配慮した食生活が実践できるよう、講話や実習を通して学ぶ。	・高血圧予防の食事9/11 参加者9人 ・糖尿病予防の食事9/18 参加者12人 ・減塩と野菜摂取 時短で野菜のおかずをもう1品（動画配信 申込者51人 視聴回数94回）		集客型は、参加者が集まりにくく高齢層が多かった。参加者からは、「実際に作ると、自分は塩を多く使用していたことに気づいた」等の感想をいただいた。 配信講座は、青壮年期の参加も見られ、拝聴者からは「軽い気持ちで視聴したが、長岡市の現状を知り危機感を持った」「野菜をたくさん食べることも減塩につながるのと知れて良かった」等の感想をいただいた。 今後は、参加型は開催方法や周知を工夫して広く参加者を集める工夫をし、配信型講座とも使い分けていきたい。
9	食育総合講座「みんなの食育塾（伝承コース）」	健康増進課				○		長岡の代表的な郷土料理や、地元の食文化の体験を通して親しんでもらい、次世代に伝えていくため、実施するもの。	・醤油や発酵について学ぶ講座7/20 参加者14人 ・山古志の郷土料理11/19 参加者19人 ・和食の基本11/14 参加者18人		工場見学や体験を伴う講座、郷土料理や地元の料理人から和食を学べる講座とあって、申込は多くあった。「地元の食材を使った料理を地域の方から教えてもらえて良かった」「発酵食品作られる過程を知れて良かった」「郷土料理をあまり知らないのでも子のような企画をまたしてほしい」等の感想があった。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
10	給食だより・食育だより	保育課 各保育園	○	○				公立保育園の献立や食に関する情報、各保育園での取り組みを発信することを目的とし、献立だより、給食だよりを発行する。	献立だより発行 12回/年（保育課） 食育だより発行 各保育園で年3～4回		献立だよりには使用食材を黄赤緑の3色分けで記載しているほか、減塩うまみランチ、まごわやさしい献立、かみかみ献立、郷土食や行事食など、工夫を凝らした献立を取り入れ、家庭に周知している。他にも季節の話題やマナー、アレルギー、子供の好き嫌いと味覚などについて掲載。今後も給食を通じて園での食育に取り組んでいきたい。 食育だよりでは、各園での日々の食事の様子や園で野菜を栽培・収穫する様子、育てた野菜を使ったクッキング活動などの食育活動、給食レシビなどの紹介を行った。
		学務課 各小中学校	○	○				①各学校で保護者あてに毎月配布するもの ②年に2回夏休み号・冬休み号として家庭で親子で読める内容で配布 ③「ながおか減塩うまみランチ」に合わせ毎月掲示、または配布によって減塩の取り組みについてのおたよりを配布 ④学校給食週間（1月）に合わせ、毎年テーマを決め給食への関心を高めるおたよりを家庭へ配付	①全市内学校で毎月1回配布 ②年2回全市内学校へ児童生徒数配布 ③毎月「ながおか減塩うまみランチ」に合わせて配布・掲示 ④年1回：学校給食週間期間（1月）		「ながおか減塩うまみランチ」をおたよりや掲示で、取り組みを周知する機会となった。 R6年度の学校給食週間のテーマは「行ってみよう旅先グルメ第3弾北陸新幹線でめぐろう給食の旅」とし、北陸地方の郷土料理や名物料理を紹介した。
11	【新規事業】 食育授業・食生活調査	学務課 各小中学校	○	○				各小中学校で食育指導計画に基づき、児童・生徒を対象に食育授業を実施する。	食育授業：50校で実施 食生活調査：全小中学校で実施（小5、中2）		全小中学校で実施し、市内の小5、中2の食生活の実態を知ることができた。結果をもとに児童生徒に向けて食育授業等を通じて啓発に努めていく。
12	【新規事業】 こども長岡びったり3・1・2弁当スライド作品展	健康増進課 学校教育課	○	○				市立小中学校の児童・生徒を対象に、「3・1・2弁当箱法」で作ったお弁当のスライド作品を募集し、ホームページ等で上映するもの	応募総数 217件 小学校 8校8件 中学校 5校209件 【びったり賞】80件 【おいしい賞】137件		応募作品は市のホームページやこめぶら、農業まつり等で掲載、上映を行った。 子どもたちが食について「自ら調べる・知る・調理する・伝える」機会となった。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
13	【新規事業】 市政だより給食レシピ紹介	学務課 保育課	○	○	○			子どもたちに人気で栄養バランスのとれた給食レシピを幅広く紹介し、家庭での食育や食事作りのヒントとしてもらうため、市政だよりに学校・保育園の給食レシピを市政だよりに掲載する	令和6年9月号より掲載開始 市政だよりにより毎月掲載 (学務課・保育課で月ごとに担当)		子どもたちに人気の野菜を使ったメニューや地元食材・旬の食材を使ったメニュー、郷土料理など、給食レシピを市政だよりで紹介することで、幅広い世代に向けて発信ができた。市政だよりのアンケートでは給食レシピを家庭の食事作りの参考にしている、家庭で作ると子どもが喜んで食べてくれるなどの声があったため、引き続き食育と絡めたレシピを掲載していきたい。
14	子育て支援あぐりんこ内での食育調理実習	J A えちご中越 さんとう地域	○				○	子育て中のママと入園前の子どもを対象に、親子で食育について学びながら調理実習を通して料理できる力を身に付ける。	月1回(9月・10月を除く)、年10回開催。 延べ94親子の参加 内容：行事食、伝統食など地場農産物を使った食育メニュー	186	笹団子、おこわ団子、しょうゆ赤飯など、郷土食に関心のある子育て中のママさんに意欲的に参加いただき好評を得た。
15	【新規事業】 子育て世代の親子を対象にした郷土食の伝承会	J A えちご中越 さんとう地域	○				○	子育て世代の親子を対象に新潟県の郷土食である「笹団子」作りを体験してもらい、郷土食や地域文化を若い世代へ伝承する。	11月30日(土)実施 午前8親子・午後8親子 計36人の参加	63	郷土食の伝承会として年1回実施。笹団子作りに関心のある若い世代も多く、郷土食を地域へ普及・伝承する場となっている。
16	小学校(保育園)での食育出前教室	J A えちご中越 さんとう地域	○	○				保育園・小学校からの依頼で「出前食育教室」や「出前料理教室」として地域に出向く食育活動を展開していく。	小学校：2校 保育園：9園		出前教室(保育園)は、ペープサート、クイズ、エプロンシアターなどを実施。料理教室(小学校)は、依頼内容に応じた調理実習を実施。「食育」を身近に体験してもらえた。
17	【新規事業】 食育充実事業「食を切り口とした子育て世代応援事業」	県	○					保育園と協働し乳幼児を子に持つ男性を対象にした食育事業	小千谷市立すみれ保育園にて実施。 参加者38人(女性21人、男性17人) 本取組をモデル事業とし、食育推進プロジェクト事業において管内市町担当者を取組の共有を図った。		通常の保育園食育講座は父親の参加は若干名に留まる傾向にあるが、保育園長からの父親への参加勧奨が奏を功し、男性の参加者が約半数を占めた。 また、食育推進プロジェクト事業において、管内市町担当者を取組を共有することができた。
18	子ども食堂への運営支援	子ども・子育て課	○					市内における子ども食堂の安定的な運営や開設の拡充を図るため、子ども食堂の運営経費を対象に補助金を交付。 令和6年度は運営費7万円に加え、施設の賃借料又は使用料が発生する場合は2万円を上乗せし、上限額9万円に増額した。	補助金交付：12団体 (内新規開設：1か所)	880	感染症予防の対応のため、弁当配食が中心となっていたが、今年度新規開設した食堂は会食が多く、少しずつ会食を実施する団体が増えてきた。補助金の交付により子ども食堂の新規開設や安定的な運営に繋がり、子どもの孤食防止や居場所づくりが図られた。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
19	食育指導計画	保育課 各保育園		○				各保育園での健康教育、食育活動等を計画的に行うため、年間指導計画を作成する。	公立認可保育園・こども園 30/30園		全園で作成し、計画に基づいて食育の取り組みを進めている。今後も年度ごとに各園で年間計画を作成し、食育活動を行っていく。
		学務課 各小中学校		○				各小中学校で学校指導要領に基づき各学校で計画を立てるもの	全体計画：83校作成 年間計画：75校作成		令和2年度に市内学校栄養教職員によって作成された食指導全体計画をもとに、毎年年間計画を作成し、それにそった食育を進めている。
20	食育講演会	学務課 各小中学校		○				食に関する内容について児童、生徒、職員、保護者あてに講演会を実施するもの	児童生徒対象：5校 保護者対象：3校		講演会等を実施する学校が少なかったが、実施した学校では各学校のテーマにそった内容で講演会を実施し、食育の普及啓発につながった。
21	給食試食会	保育課 各保育園		○	○			乳幼児期の食事について、適量やバランス、おやつ役割などを保護者へ啓発する目的で、保育参加や懇談会などで、給食やおやつを試食会を実施する。	各公立保育園で実施（20園）		保育参加や懇談会などで、給食やおやつを試食会を実施。家庭での様子と違いを感じる場面にもなっており、家よりも野菜を食べていて驚いたなどの感想が寄せられた。実際に保護者が給食を食べることで、幼児期に必要な食事バランスや味付けの目安、食事量などの啓発につながった。
		学務課 各小中学校		○	○			各学校で保護者、地域住民、生産者と試食会を実施するもの	保護者対象：43校 学校評議員等：1校		コロナ禍前の実施状況に回復した。試食会を通じて保護者等へ地産地消、減塩について周知する機会となった。
22	給食での行事食の実施	保育課 各保育園		○			○	子供たちの食文化への興味、関心を高めるため献立に行事食を取り入れる。	給食、おやつを合わせて月1～2回程度実施		正月料理（なます、雑煮、鮭塩焼きなど）、節分、七草がゆ、鏡開き、七夕、冬至、春分の日（おはぎ）、ひな祭り、長岡まつりに合わせて長岡の特産物を使用した献立などを提供した。 次年度以降も、積極的に行事食を取り入れたい。
		学務課 各小中学校		○			○	各行事にあわせた行事食を給食で提供するもの。	全市内学校		献立だよりの他にも、ひとくちメモや献立会議等での保育者等への伝達を通じて、子どもと家庭への啓発に努めていく。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
23	栄養教諭等による健康教育・指導	保育課 各保育園			○			公立園や子育て支援センターで園児や未就学児保護者に対して、健康教育・食育講座を実施する。	保育園：2 か所延べ4 回 （延べ282人） 支援センター、子育ての駅：4 か所		保育園では食事のバランスや生活リズム、旬の野菜について、子育て支援センターでは乳幼児期の食事や離乳食などのテーマで実施した。イラストや媒体を使用し、クイズや語りかける方式で行うことで、子どもたちも集中して話を聞いていた。支援センターでの講座は、保護者同士の情報交換の場にもなっていた。次年度以降も、園からの依頼に応じて実施していく。
		学務課 各小中学校			○			各学校で栄養教諭、栄養教職員が目標に合わせて授業、指導を実施するもの。	全市内学校		昨年度に引き続き、減塩の取り組みを行うとともに、各学校の児童生徒の健康・生活リズムを把握し、現状に沿った内容を検討し実施できた。
24	保育園・幼稚園・こども園食育事業【園児・保護者向け講座】	健康増進課 保育課			○			園児や保護者を対象に、食に関する講話や運動、簡単な調理体験等を行う (1)保護者向け食育講座 (2)親子食育体験講座 (3)3回講座	(1)保護者向け食育講座 ・3園実施 80人（保護者73人、職員7人） ・内容：幼児期の食事、家族で食べる食事の話、おやつと朝食 (2)親子食育体験講座 ・6園実施 241人（児童110人、保護者106人、職員25人） ・内容：朝ごはんの大切さ、食事のマナー、おやつ等の講話と簡単な調理体験（シャカシャカおにぎりづくり、出汁試飲） (3)3回講座 ・10園実施 延べ883人 ・内容 ①まごわやさしい ②き・あか・みどりの食べ物 元気なうんち・うんちおたすけ運動 ③早寝早起き朝ごはん 元気いっぱい全身運動	239	事後アンケートより、こどもの食への興味関心を育むだけでなく、保護者が食育へ目を向けるきっかけづくりとなり、知識の再確認としての効果があったことが読みとれた。保護者からはおおむね好意的に受け入れられ、家庭での食育につなげていただいたように感じる。 引き続き、講座を通して子どもたちが食材に触れることで、食を身近に感じ、正しい食事の知識を身につける機会を提供するとともに、保護者世代に向けて手軽に食事のバランスを整えるヒントや、野菜摂取の重要性を伝えていきたい。
	保育園・幼稚園・こども園食育事業【保育従事者研修会】	健康増進課			○			保育従事者が、食育の重要性を認識し、日々の保育場面で効果的な導入ができるよう支援することを目的に、研修会を実施するもの。	神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科長 笹田哲氏 「食行動に配慮が必要な園児、児童への支援」 参加者数：156名 ※オンラインと集合型を併用	30	前年度と同じ講師であったが、保育現場ですぐに活かせる具体的なお話が多く、参加者からは好評であった。食事以外の場面での経験が食べ方の成長にも繋がることを再認識することができた。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
25	【新規事業】 特定給食施設等指導事業	県		○				健康増進法に基づく給食施設指導	学校や保育園を対象とした給食巡回をとおり、給食や食育計画の目的等について保育園長や小中学校長等と共有を行う。 令和6年度は見附市の保育園等を対象に巡回指導を実施した。		見附市の保育園や幼稚園を対象に巡回指導を実施した。県及び見附市食育計画の目的や課題について担当者と情報共有を行い、今後の取組の方向性について検討することができた。 今後は、本取組をモデルケースとし、長岡市においても各施設や行政の担当者と取組を共有していきたい。
26	食育推進料理教室	長岡市食生活改善推進委員協議会			○			調理実習や講習を通し、食生活面からの健康づくりを推進するため、市から事業委託を受け、市内全域で実施。全市共通するテーマに基づき、地域の実情にあった食生活の相談・助言を行い、健康づくりに関する知識の普及を図る。	実施地区数：49地区 参加者数：766人 テーマ「地球と人にやさしい減塩エコ料理」 ～調理の工夫で、食品ロスを減らそう～	981	参加者からは「今までにないメニューで参考になった」「料理の後の生ゴミの少なさに驚いた、家でも実践したい」「減塩でも野菜の味がしっかりとあり、彩りもよくおいしかった」との声も聞かれた。
27	働く世代への啓発事業	長岡市食生活改善推進委員協議会			○			食生活に課題が多く見受けられる働く世代に対して、事業所を訪問し、生活習慣病予防と健康づくりの普及啓発を図る。	日時：7月6日 対象企業：北越メタル テーマ：減塩について 参加者数：50人	19	北越メタルでは、「健康に気を付けて食事をしたい」「減塩の大切さ、野菜の摂取に今後気をつけたい」などの声が上がって生活習慣の改善に意欲的な声が上がった。
28	ながおか減塩うまみランチ商品化	健康増進課学務課			○			学校給食の献立を商品化し市内のスーパーマーケットで販売することで、市民が手軽に減塩や野菜摂取に繋がる食生活を実践できるよう、食環境の整備を行うもの。	販売店舗 ①スーパーマルイ（市内7店舗） ＜6月販売個数＞ ・鶏肉の梅ケチャソース：2,472個 ・切干大根のさっぱりあえ：544個 （長岡市内の販売実績） ②割烹たいしん＜2～3月販売数＞ ・弁当 192食 ・社員食堂 107食	66	R5年度からの継続した取組。スーパーマルイの協力により、長岡市含め全県で取り組んでいただき、PRとなった。「学校給食の工夫を家庭でも」というコンセプトが市民の興味を引いたようで、主菜の売り上げ数は昨年度より増加した。 R6年度は、地元の割烹にも協力いただき、弁当と社員食堂でのうまみランチ献立の提供を開始した。 今後は本献立を活用した事業を様々な方法を検討していく。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
29	健康増進活動	J A えちご中越 ながおか地域			○			①健康教室：健康に関する情報提供を行う。 ②地区健康料理教室：ながおか地域女性部で開催。研修会を受けた各支部リーダーが中心となり、健康料理教室を開催し、健康づくりへつなげる。	①健康教室 会場：3会場 参加人数：37人 地域住民の健康意識の向上、検診受診率増加、健康寿命の延長を目的に開催。長岡中央総合病院のリハビリテーション科技師などの協力により、各会場のニーズに合わせた講話や軽運動について指導をいただいた。 ②健康料理教室 開催時期：第1回6～8月/第2回10月～12月 会場：21会場 参加人数：238人 米粉レシピや旬の野菜使った料理教室の実施。支部で伝達講習会を開催。		①健康教室 「毎年の参加を楽しみにしている」と例年参加されている方も多かった。日常的に続けられる運動で、病院技師による分かりやすく本格的な指導により継続的に続けられそうと健康への関心が深まった。令和6年度は町内やJ A 女性部の催しと重なり、例年より参加人数が減少。各会場ともに少人数での開催となった。 ②地区健康料理教室 「自宅でも作りやすい」「料理のレパートリーが増えて良い勉強になる」と主婦でもある部員のみなさんからは好評。また、支部活動（伝達講習会）を行うきっかけとなり、参加する部員同士の交流にもなるため活動活性にも繋がっている。
30	すこやか・ともしびまつり ブース参加	栄養士会長岡支部 (福祉総務課他)			○			地域における食育活動の重要な場ととらえ、今、健康づくりに必要なテーマを設定し、専門職として食の面から健康支援を行う。	・9月14日、15日 ・来場者：512人（栄養士会ブースへの総来場者数） ・体験コーナーとして、子供向けにはうんちクイズ、大人向けには腸年齢を知ることができるyes・noクイズを体験。その他関連掲示あり。これにより、食生活と生活習慣・排便習慣の関係と大切さを理解でき、同時に排便習慣に必要な腸内細菌・食物繊維の説明も行った。		「うんち」の響きに、楽しそう・おもしろそう！と立ち寄られた子供連れの家族の参加が多かった。わかりやすい掲示物を使って説明を行ったことで、野菜摂取と排便習慣の見直しをする良い機会になったと思われる。これを実践につなげてほしい。
31	糖尿病を知るつどいでの啓発活動	栄養士会長岡支部 (長岡市医師会他)			○			糖尿病に関心のある方、患者さんとその家族、一般の方等を対象に実施する。	・12月22日 参加者158人 ・糖尿病対策において血圧コントロールは重要であり、その対策として、開催時期がクリスマス・お正月を迎える時期と重なり、食塩の摂り過ぎが懸念されることから、気を付けたい減塩ポイント及び酒などアルコール飲料の制限方法を紹介した。		テーマ「冬の糖尿病対策～食事と運動に気をつけて、冬を楽しく乗り切ろう～」として座談会のメンバーとして参加し、また、展示物を活用した栄養相談の実施することで、他職種との協力をいただきながら、普段の食生活を見直すきっかけや、今後の食生活改善に向けたヒントを知らせることができた。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
32	C K D ・糖尿病性腎症栄養指導事業	栄養士会長岡支部 (健康増進課)			○			糖尿病等の重症化予防、合併症予防のために食事指導・運動療法・薬物療法のセルフケアを身につけ、実践できることをねらいとする。	- 令和6年6月から令和7年2月 計15回、その他対象者の希望日にあわせて訪問事業を行った。 - 参加人数 延224人 - 昨年同様、糖尿病性腎症重症化プログラム栄養相談会、糖尿病相談会、後期高齢者栄養相談会として、すべて個別指導にて実施した。		全て個別指導であり、参加者は病態の理解、検査値の見方、自分にあった食事療法など具体的に学ぶことができた。事業の評価が難しい面もあるが、希望者が多く、個々への対応ができるため、好評であった。令和7年度からは、栄養士会への完全委託は終了し、長岡市主導の運営となる。
33	【新規事業】 自然に健康な食事ができる環境づくり	県			○			スーパーマーケット等と協働した食環境づくり	「けんこうtime推進店」新規店舗の登録を目指し、株式会社スポットへ事業説明等を実施した。		株式会社スポット（良食生活館）が「けんこうtime推進店」に登録した。 (長岡市内店舗数：2店舗)
34	コミュニティセンターにおける高齢者・男性に対する食育の取組	各コミュニティセンター 市民協働課			○			高齢者や男性を対象とした料理教室の開催等、食への関心を高め健全な食生活の実践につながる機会の提供を行う	実施コミュニティセンター：20か所 参加者数延べ：406人 - 男性対象とした食育の取組：15か所 30回 参加者数延べ183人 - 高齢者対象とした食育の取組：8か所 12回 参加者数延べ223人 ・内容：講話、調理実習など ・講師：食生活改善推進委員、栄養士など		高齢者や男性の食への関心を高める機会として、各コミュニティセンターで、料理教室を実施。高齢者向け及び男性向けいずれも食育の取組が減少し、全体の参加者数は減少した。その背景に、高齢化などにより事業見直しを行った地域が一部ある。望ましい食習慣の定着につながるきっかけづくりとして、今後も内容の充実を図っていく。
35	ふれあい型食事サービス事業	長岡市社会福祉協議会			○			ひとり暮らし高齢者などを対象に、食事の提供を行うとともに、利用者の安否確認や利用者同士、利用者とボランティアとのふれあいを目的とした食事サービスを実施するもの	- 市内41地区で実施（全地区） - 延食数62,502食		各地区のボランティア等がお弁当の献立から調理、配達までを行い、ひとり暮らし高齢者などの安否確認や地域住民同士のふれあい、つながりづくりを行うことができた。
		長岡市社会福祉協議会 長岡市食事サービス連絡協議会			○			ふれあい型食事サービス事業の調理ボランティアを対象に事業が円滑にできるよう、研修会を実施するもの。	- 実施回数3回 - 参加者177人	64	- 安い食材を使った高齢者向けの献立や衛生管理等について学び、参加者からは今後の活動に取り入れたいという感想が寄せられた。 - 各地区の食事サービス事業の実施状況・課題等の情報共有や、参加者同士の交流をすることができた。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
36	【新規事業】 長岡地域 地域高齢者等の 「食」をサポートする体制整備事業	県			○			高齢者を支援する関係者と協働し展開する食を通した地域包括ケアシステムへの貢献を目指した事業	①在宅、福祉、医療のシームレスな「栄養情報の共有」をテーマにした検討会の開催 ②食べる機能に着目した研修会の開催 ③病院、施設の管理栄養士を対象とした「栄養情報の共有」を目指した研修会の開催	101	診療報酬や介護報酬の改定に合わせた「栄養情報の共有」について関係者と共有することができた。
37	食育推進会議・食育推進連絡会議の開催	健康増進課			○			幅広い分野に関わる食育は、多様な関係者、関係団体が連携し計画に取り込むことが重要である。そのため、食に関する団体や有識者等で構成し長岡市食育推進計画の策定や進捗管理を行う食育推進会議と関係団体、関係部局が連携を図るため、情報・意見交換を行う食育推進連絡会議を設置している。	【長岡市食育推進会議】 ①令和6年6月28日開催 議題：令和5年度事業報告・第4次計画の概要説明、令和6年度食育推進事業について 【長岡市食育推進連絡会議】 ①令和6年8月29日開催 ②令和6年12月9日開催 議題：第4次計画の概要説明、令和6年度食育推進事業、青壮年期への取り組みについて	112	第4次計画の概要及び令和6年度の食育推進事業について、意見交換、情報共有を行った。 食育推進連絡会議では、特に課題となっている青壮年期への取り組みについて、関係者で情報共有、検討することができた。今後も効果的な事業展開につながるよう協議を継続していく。
38	第4次長岡市食育推進計画進捗状況管理	健康増進課			○			第3次長岡市食育推進計画の施策に対する取り組み状況を把握し、現在の進捗状況の評価を関係課・関係団体と共有することで、計画の推進に向けた現状と今後取り組むべき課題を明確にする。	令和5年度実施状況報告書の作成	-	関係課、関係団体の食育推進についての取組状況を調査し、報告書としてとりまとめた。これを基に関係課・関係団体と食育推進事業の現状や課題を共有し計画の推進を図っていく。
39	食生活改善推進委員養成教室の開催	健康増進課			○	○		住民の健康づくりを推進するため、食生活改善推進委員を養成するもの。受講生に対して、食生活や運動実技、生活習慣病、市の保健活動についてなど、健康づくりに関する幅広い分野の講座を行う。	開催時期：10月～12月の 計4回 受講者数：26人 修了者数：23人	63	食の大切さや健康づくり活動の大切さを認識し、自分も役に立てよう頑張りたいという前向きな意見を多くもらった。食推活動に参加していく中で、養成教室で学んだことを活かして、自分の健康、家族の健康、地域の健康づくりへ貢献していただくことを、期待する。 教室に参加しやすくなるため、講座の日程を6日間から4日間に減らして実施した。若い世代からの参加もあった。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
40	食生活改善推進委員活動支援	健康増進課			○			地域での地区活動の円滑な実施と活動強化のため、また、地域住民の健康づくり及び食育を推進するために研修会の充実を図る。	・会員数425人 ・全体研修会：2回 330人 ・各地域研修会：27回	463	市民へ健康づくりを普及していくためには、地域で活動している食推の存在が重要であり、食推活動に生かしていけるような研修内容を検討し、楽しく活動が続けていけるように支援していく。
41	【新規事業】 子ども食堂への農産物の無償提供	J A えちご中越 さんとう地域			○			子ども食堂へ、地場農産物・地場産米の無償提供を行う。	提供先 1 食堂。毎月 1 回、直売所生産者より無償提供いただいたものを納品。	-	子ども食堂への農産物の無償提供を通じ、社会貢献の一環として取り組んでいる。今後も継続した支援を行う。
42	食育月間・食育の日PRイベント	健康増進課			○			食に関する団体と連携し「食育月間」（毎年6月）及び「食育の日」（毎月19日）を周知するための普及活動を行うもの。	・野菜摂取啓発POPの作成と掲示（市内コンビニ4社、スーパー5社）（6月） ・食育月間PR展示 中央図書館・ミライエ長岡での展示（8月）	67	野菜摂取啓発POPは、市民が多く利用するコンビニやスーパーに協力いただくことで、青壮年期及び広い世代に対し啓発ができた。図書館とのコラボ展示では、食育に関する本と一緒にPRし、幅広い世代の目に触れることができた。
43	食育講演会	健康増進課			○			食を通して生涯にわたり健康な心身を培い、健全な食生活の普及を図り、食の大切さの理解につなげるため、広く市民にむけた講演会を実施するもの	食生活改善推進委員協議会第2回全体研修会に併せて開催 日時：11月29日（金） 会場：リリックホールシアター 参加者：221人 講師：島本 美由紀氏（料理研究家） 「食品ロスを減らす！冷蔵庫収納と食品保存のコツ」	100	＜参加者の感想（一部抜粋）＞ ・SDGSと地球温暖化と食品ロスがつながっていることを再認識した。 ・冷蔵庫の使い方から食品ロスを減らす方法を学ぶことができてよかった。 周知方法はチラシ・ポスターだけでなくLINE、電子掲示板でも行った。電話以外に、二次元コードの申し込みも可能とし、全体の約2割がこの方法で申し込んだ。 講演内容は冷蔵庫収納と保存術で、食品ロスを減らす実践的な工夫を紹介し、参加者に好評だった。
44	食事サービス利用者への情報提供（食育だよりの発行）	健康増進課			○			配食サービスの利用者に向けて季節に応じた内容の食育だよりを配食弁当とともに配布する。（不定期）	R6年度は制作なし	-	-

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
45	ながおか田植え・さつまいも 苗植え体験 稲刈り・さつまいも掘り体験	農水産政策課 (ながおかグリーン・ ツーリズム推進協議会)						○ ながおか田植え・さつまいも苗植え体験 農業体験を通して、市民・農業者とのふれあい交流の場を創出するとともに、農業に対する理解を深める。 ○稲刈り・さつまいも掘り体験 5月の田植えで定植した作物及び地場産の作物を収穫し、収穫の喜びと農産物の成長を実感するとともに、一日を通して農業と触れ合う機会を提供する。	○ながおか田植え・さつまいも苗植え体験 開催日：5月19日（日） 参加者：15組47名（大人23名 子供24名） ○稲刈り・さつまいも掘り体験 開催日：9月29日（日） 参加者：49組148名（大人79名 子供69名）		食べ物の生産体験を通して、農産物にかかる多くの愛情や労力などを実感し、食の大切さや感謝の気持ちを学ぶことができた。
46	芋農園、じゃが芋・肴豆栽培・収穫体験	J A えちご中越 ながおか地域 (直売交流課・なじら〜て関原店)						○ 直売所：長岡産野菜のPR拡大と園芸農産物の生産拡大。	(1) 直売所隣接圃場を活用した収穫体験イベント 日時：①7月13日・7月14日 ②10月13日・10月14日 内容：①じゃがいも収穫体験 ②さつまいも収穫体験 参加人数：①20人 ②35人 (2) 幼稚園を対象とした農業体験 対象：みのり幼稚園 内容：さつまいも栽培 参加人数： 6月定植作業30人程度（年長） 10月収穫作業65人程度（年長・年中・父兄）		(1) ①じゃがいも掘り体験は当初の予定よりも少ない人数となったが、品質も良く非常に好評だった。 ②じゃがいも掘り体験よりも大勢の人数が集まったが、今年苗の産地が変わったせいか品質収量が非常に悪く、近隣の生産者より補填分のさつまいもを仕入れ、不足の方にはそちらも配布し対応した。 (2) 定植作業は相変わらず手直し必須だった。収穫作業は園児の父兄の方々からもご協力いただき非常にスムーズな作業ができた。
47	農業・農村体験	J A えちご中越 ながおか青年部						○ 旧 J A 越後ながおか管内（旧長岡市・栃尾・山古志）の小学生4.5.6年生を対象に1泊2日で実施。農産物加工体験や地元農家での農業体験を通じ、農業の知識や楽しさ、地元を学ぶ場として実施。	日程：8月10日（土）～11日（日） 会場：あぐらって長岡・寺宝温泉（宿泊先） 青年部圃場 参加者：20人 内容：米粉ピザ作り、スマート農業体験 農業体験 協力団体 J A えちご中越ながおか女性部 ながおかグリーンツーリズム推進協議会		J A 女性部やあぐらって長岡の協力を得ながら、長岡の農と食について楽しく学べた。例年真夏日開催のため、熱中症には特に気をつけ、安全に実施できた。
		J A えちご中越 さんとう地域						○ 保育園・小学校からの依頼で、農業に関する体験・施設見学等を行いながら農業への理解を深めてもらう。	実施：保育園1園・小学校2校 (育苗センター／ライスセンター／直売所見学)		J A 施設の見学、農作業体験を通じ、農業への理解と関心を深めてもらった。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
48	学校教育田	J A えちご中越 ながおか青年部					○	青年部が先生となって、小学生・園児を対象に行う。 田植えや稲刈りなどの体験を通して農業への関心を深めてもらう。	実施小学校：14校 実施保育園・幼稚園：1園		楽しみながら農業体験してもらい、収穫の喜び・農業への関心を深めてもらった。
		J A えちご中越 さんとう地域					○	小学校からの依頼で、5年生の学校田の指導を行いながら農業への理解を深めてもらう。	実施小学校 5校		田植えから稲刈りまでの学習や体験を通して、米づくりや地域農業への理解を深めてもらった。
49	野菜栽培指導	J A えちご中越 ながおか青年部					○	青年部が先生となって、小学生・園児を対象に行う。 植付や収穫などの体験を通して農業への関心を深めてもらう。	実施小学校 3校 実施保育園・幼稚園 10園		楽しみながら農業体験してもらい、収穫の喜び・農業への関心を深めてもらった。
		J A えちご中越 さんとう地域					○	小学校からの依頼で、野菜の栽培指導を行いながら農業への理解を深めてもらう。	実施小学校 2校		野菜の栽培、管理、収穫を通して楽しみながら農業に触れ、体験することで食と農への関心を深めてもらった。
50	こめっこすすめ隊料理教室	J A えちご中越 ながおか地域 組織福祉課（こめっこすすめ隊（J A 女性部））					○	米生産地として、米粉の普及・活用・PRを行い、米の消費拡大をすすめる。また米粉料理の出張講習会を行う。 月1回の定例会を設け、メンバーで自主的に勉強会を実施。	【米粉出張料理教室】 ○開催日：8月6日（火） 内容：米粉のピザ風チヂミ 参加者：小学生3人 ○開催日：8月10日（土） 内容：青年部主催アグリスクール（ピザ・おにぎり） 参加者：小学4～6年生20人 ○開催日：12月25日（水） 内容：米粉のフルーツ大福 参加者：小学生9人		米粉の性質を学び、実際に調理して1人でできた達成感を楽しんでもらいながら米粉についてを学んでもらった。現在はお菓子屋パンなど市販の物でも米粉の普及が多く広まっているが、実際に調理する機会は少ないため今後も子供向けの教室を中心に活動を続けたい。
51	【新規事業】 食育の日料理教室	J A えちご中越					○ ○	なじら〜て東店に併設された市民交流施設イーネにて、旬の食材や季節のイベントに合わせた料理教室を一般市民を対象に開催。	毎月19日（または、その前後に日にち） 会場：市民交流施設イーネ 開催日： R6. 2/20. 3/22. 4/19. 5/21. 6/19. 7/19. 8/20. 9/19. 10/23. 11/19. 12/19. 1/21 参加者のべ人数：110名		・一般市民のために日々の食卓から食育を発信できる良い機会となっている。直売所のPRや売上にもつながっている。 ・物価の高騰により材料費がかかることから、参加費を年度途中で1,500円から1,800円へ値上げした。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおか食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
52	長岡産食材を使用した給食の実施	保育課 各保育園					○	子どもたちの地元食材や郷土料理への興味、関心を高めるため給食献立に行事食を取り入れる。	給食、おやつを合わせて月1～2回程度実施		煮菜、ゆうごう、糸うり、醤油おこわ、桜飯おにぎり、ふかし茄子、のっぺ、打ち豆、里芋など地元の郷土料理や食材を多く取り入れ、食文化の継承に努めた。献立だよりや保護者配布レシピ、給食ひとくちメモ、市政だよりでも紹介し、家庭への普及啓発にも努めた。次年度以降も、積極的に地元の食材や郷土料理を取り入れていく。
		農水産政策課 学務課 各小中学校					○	市内学校で長岡市産の食材を給食で活用するもの	全市内学校		全市内学校の給食で各地域の地場産食材を使用した。 - 学校給食向け契約流通の取り組みもあり長岡市産の食材の使用の意識を高めることにもつながった。
53	学校給食への長岡産（地場産）米提供・地元野菜の提供	J A えちご中越 ながおか地域 （園芸特産課・営農経済課）					○	学校給食への地元野菜・地場産米の供給	・地元野菜 供給校：26校 ・地元コシヒカリ 供給校：小学校36校 中学校15校 総合支援学校1校 令和6年度米供給：3,526俵	-	—
		J A えちご中越 さんとう地域					○		・地元野菜 小学校8校/中学校5校/総合支援学校1校 ・地元産コシヒカリ 小学校2校/総合支援学校1校 令和6年度供給：182俵	-	—
54	ながおか農業まつり	J A えちご中越					○	消費者交流を通じて収穫の喜びを祝い、「地産地消PR」「食農教育」「地域の繋がり・一体感」を目指す。	日時：10月26日(土)9:00～15:00 会場：ハイブ長岡 来場者数：10,300人 出店数：39ブース	-	・メインターゲットを「子育て世代・若年層」として、管内の食農関係団体から協力いただき、出店数は過去最多となった。 ・来場者の5割以上が開始2時間に集中し、混み合ったが、大きなトラブルもなく開催できた。

R6年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおか食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R6 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
55	職場体験	J A えちご中越 ながおか地域 (総務部・直売交流 課)					○	農業関連施設等での職場体験を通じて、農業やJ A の理解を深めてもらう。	①中学生(2, 3年生) 職場体験 日時：7・9月 場所：なじら〜て東店 内容：野菜の袋詰め、品出し、接客 参加人数：9人(3校) ②中学生(1年生) 地域巡検 日時：10月 場所：なじら〜て東店 内容：店舗への質問回答、売場見学 参加人数：9人(2校) ③中学生 日時：7・9・10月 場所：なじら〜て関原店 内容：野菜の袋詰め、品出し、接客 参加人数：5人(2校) ④小学校 日時：10月 場所：なじら〜て関原店 内容：販売・接客 参加人数：13人(1校)		①直売所の業務を中学生に良く知ってもらうことができた。参加された学生さんは、礼儀正しく積極的に業務に取り組んでくれた。 ②直売所の強みである、毎朝地元農家さんが持ってくる新鮮な野菜を販売しているということを、伝えることができた。 ③④お客様とふれあう機会を大切に職場体験を実施。直売所について知り、興味を持っていただく良い機会になっていると思う。
56	【新規事業】 環境に配慮した農法で作られた米のブランド化	農水産政策課					○	農薬、化学肥料の使用量5割以上削減に加え、環境保全に寄与する農法を用いて栽培された米を市でブランド認証し、消費・生産拡大を図るもの	令和6年度 認証数 28経営体 市内の直売所やwebショップにて販売		本ブランド認証は、安全安心な長岡米の認知度向上、価値向上に繋がっただけでなく、地域の子ども向けに水田の生き物調査等を行っている生産者の励みにもなり、食を学ぶ体験の場の継続にも寄与した。
57	【新規事業】 小、中学生を対象として環境をテーマにデコ活標語の募集	環境政策課		○			○	市内小・中学生の環境配慮への意識を醸成する「デコ活標語コンクール」を実施	市内小学校 18校252点 市内中学校 1校152点	39	入賞作品は市HPやトキと自然の学習館で展示したほか、「ながおか環境情報誌」に掲載し、機運醸成を図れた。
58	【新規事業】 小学生を対象とした地球温暖化・気候変動対策講座で食品ロス削減につながる環境教育	環境政策課		○			○	地球温暖化への基本的な知識と関心を醸成し、家庭での地球温暖化対策を促進するため、市内小学校を会場に講座を行う	市内3校 229名	24	講座実施日を授業参観日にあて、親子で参加する学校もあり、家庭内での地球温暖化対策の機運醸成を図れた。
59	食生活改善推進委員地区活動	長岡市食生活改善推進委員協議会 (各コミュニティセンター等)					○	各地域の実情に合わせた取り組みや地区組織と協働して健康づくりや食育の普及活動を行う。	料理教室等を実施。各地域の実情に合わせた講座の実施や健康づくり普及の取り組みを行った。		各地域のコミュニティセンターや食に関する団体等と協力しながら、引き続き取り組みを進めていく。

